

自己点検・自己評価

(令和5年12月22日)

学校法人村上ワールド学園 日本語国際学院

校長 村上 豪人

自己点検・自己評価

5：達成している 4：ほぼ達成している 3：どちらともいえない 2：取り組みを検討中 1：改善が必要

1. 教育理念・目標等

評価

1	1-1	理念・目標は定められているか	5
2	1-2	学校の特色は何か	5
3	1-3	学校の将来構想を抱いているか	5
4	1-4	理念に基づく教育が行われているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

今日の経済・市場の国際化、情報のグローバル化等による国際交流の進展は、日本語及び日本の文化、社会、経済等の知識・技術を習得し、日本と諸外国との相互理解を深め、国際交流・友好親善に貢献できる人材を必要としています。

本校は日本の大学院、大学、専門学校への進学を希望する外国人に教育指導を行い、合格を目指すとともに、学生の学習意欲や精神の向上を培うことにあります。

本校には経験豊富な教員による学習指導進学指導、生活指導を通して有名な大学等への進学を実現させる日本語学校として千葉県柏市に開校し、授業は、日本語の会話、読解、作文等の日本語能力の習得を目指すと共に、日本の文化、社会、経済等の正しい理解を深めるカリキュラムとなっています。本校で学んだ学生が、大学・大学院等に進学し、専門的な知識や技術を身に付け、日本とアジア・中国、その他の国々との政治・経済・文化の架け橋となる事を目指します。さらに日系企業で活躍すること、日本と諸外国とのコーディネーターとしての能力を発揮し国際平和・経済発展・文化交流に貢献することを目指します。また、来日した学生が充実した学生生活を送れるよう、またそれぞれの目的が達成されるよう努力しています。

2. 学校運営

評価

5	2-1	運営方針は定められているか	5
6	2-2	事業計画は定められているか	5
7	2-3	運営組織や意思決定機能は確立され、効果的なものになっているか	5
8	2-4	人事や賃金での処遇・職場環境の改善に関する制度は整備されているか	5
9	2-5	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	5
10	2-6	学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が整備されているか	5
11	2-7	危機管理体制は整備されているか	5
12	2-8	施設・設備は教育上の必要性及び学生の安全確保に十分対応できるよう学校教育法に基づき整備されているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

運営方針や事業計画は理事会において決定され、教職員にも示されています。すべての業務は本校の理事長・校長が統括し、副校長・事務長が現場の教職員を統率しています。専任教員は4名おり、実務上のフォローを行っています。業務上の諸問題に関しては日々の打ち合わせ、学期末に行われる職員会議で報告・議論をし、共通理解を図っています。

教育の面においては、専任教員、非常勤講師が一同に会して議論を行い、学生の実態・授業内容の現状について把握しています。示された提案や意見は事務長、校長に情報伝達がなされ承認・採用された提案は教職員の間で共有しています。

人事に関しては、学校運営と本人の意思の両側面から適材適所の論理で取り組んでいます。また、教職員の個人能力と自己啓発の面を念頭におきつつ、現場及び職員会議の意見を拾い上げ、理事会において決定されます。賃金や処遇は、年1回行われる人事考課を基に賃金が見直され、的確な評価による意欲向上に努めています。職場環境の改善については、職員同士の横の繋がりを密にして意見交換の円滑化を図り、より良い人間関係を構築しています。

情報システム化については教職員間でのパソコンでのファイル情報共有ができるようになっており、校内でのWi-Fiの設置、グループラインへの情報発信等を活用しています。

3. 教職員

評価

13	3-1	教育理念・目的が教職員間で共有されているか	5
14	3-2	教育の質を向上させるための取り組みが確立されているか	5
15	3-3	教育評価を行っているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

本校の教育理念や目的については採用時の研修および全体会議、学期ごとの職員会議において、校長から教育方針及び指導方向が示され共有化を図っています。

教育の質に関しては採用時、教師研修のほかにも、随時ミーティングや勉強会及び研究を行っています。

教育評価については、各教員のレベルの伸び率や前年度との比較等を通して自己評価を行い、さらに学習者からのアンケートも参考にし、次年度に活かしています。

4. 教育活動

評価

16	4-1	カリキュラムは体系的に編成されているか	5
17	4-2	成績評価は適切に行われているか	5
18	4-3	授業評価の実施・評価体制はあるか	5
19	4-4	目標に向け授業を行うことができる要件・資質を備えた教員を確保しているか	5
20	4-5	各種日本語試験の認定率向上のための指導体制は整っているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

本校ではクラスを多数の学習到達レベルに分け、初級から上級にわたって日本語教育を実施しています。特に新入生の初級レベルにおいては、まだ来日して日が浅く日本の生活にも日本語学習にも慣れていない学習者が多いため、同じ初級の中でもさらに細かくレベル分けを行い、中級以降の学習がスムーズに進むよう教師たちは配慮しながら授業に臨んでいます。

ひとつのクラスは複数の教師が担任し、それをレベル担当の専任講師が統括・評価し、問題が発生した場合は、事務職員を交えて生活の面も含め、適宜指導しています。また指導技術の向上を目指して、定期的に研究授業や授業参観を行い、授業実務を監督、指導、評価しています。教員の要件・資格は、募集の段階にフィルタをかけ、資質については採用面接を通して行い、常に力量の高い教師確保に努めています。

成績評価は、4段階評価により詳細な評価がなされています。評価の基準は、出席率、授業態度及び活動の様子、課題物提出状況、小テスト、ユニットテストの結果及び期末テストの結果を基に前期、後期の年2回総合評価を出しています。各種日本語試験の認定率向上のため、対策クラスを別途に運営したり、結果をデータ化し、反省と改善に努めています。

自己点検・自己評価

5：達成している 4：ほぼ達成している 3：どちらともいえない 2：取り組みを検討中 1：改善が必要

5. 学生支援		評価
21	5-1 進学・就職指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5
22	5-2 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5
23	5-3 学生の心身の健康管理・自己・怪我サポートを担う体制があり、有効に機能しているか	5
24	5-4 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	5
25	5-5 保護者と適切に連携しているか	5
26	5-6 卒業生への支援体制はあるか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

進学については、進路指導担当の教職員及びクラス担任が個別に面談を実施し、出願・面接サポート及び研究計画書指導を行っています。事務担当にはベトナム出身者がおり、学生からの相談があった際には、母国語で対応できる体制を整えており、学生に問題があった場合は、速やかに保護者と連絡ができるような体制を整えています。学校近くに借り上げの寮があり、寮管理担当者が寮生活者のサポートを行っており、緊急の場合でも対応できるようになっています。

6. 在留管理と生活指導		評価
27	6-1 常に最新の学生情報を把握しているか	5
28	6-2 入国・在留関係の管理・指導と支援が適切に行われているか	5
29	6-3 我が国の法令を遵守させる指導を行っているか	5
30	6-4 日本社会を理解するための支援が適切に行われているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

入国・在留関係及び生活指導については、入学時にオリエンテーションを行い、学校生活だけにとどまらず、ごみの出し方や自転車に乗る際の交通ルール等日本社会で生活していく上での生活習慣やマナー等についても理解できるように心がけて指導しています。特にアルバイトについては週28時間以内であることを周知させ、定期的にチェックをしています。また、勉強面だけでなく、クラス担任からは日本社会を理解するための指導も行っています。出席不良な学生に対しては、担任教員及び生活指導担当が面談し、実態の把握と改善指導を行っています。また、学生情報はデータ管理されており、学生からの相談や面談を実施した際には、その内容を記録し、教員で情報を共有し、閲覧できるようにしています。

7. 学生の募集と受け入れ		評価
31	7-1 学生の受入方針は定められているか	5
32	7-2 学生募集活動は、適正に行われているか	5
33	7-3 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	5
34	7-4 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	5
35	7-5 適正な定員設定及び在籍者数になっているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

学生の受け入れについては、一定の募集基準と募集人数を校内会議にて決定し、問題のない学生を受け入れる体制を整えています。学生募集については、中国、ベトナム、ネパール、スリランカ、バングラディッシュの留学生紹介業者と取り組み

募集活動を行っています。書類選考に通過した応募者に対する面接を実施し、現地での面接が難しい場合は、スカイプ面接を実施し合否を決定します。入学選考は、複数の目で審査され、適正かつ公平な基準に基づき、行っています。

8. 財務			評価
36	8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	5
37	8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	5
38	8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	5
39	8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	4

<現状・具体的な取り組み/課題>

現在運転資金は潤沢であり、中長期的に財務基盤は安定しています。理事会及び評議員会で承認された予算・収支についてはほぼ計画通りに推移しております。決算については監事による会計監査を受け、理事会・評議員会で承認されています。財務情報公開体制については、今後整備拡充を図っていきます。

9. 法令の遵守			評価
40	9-1	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	5
41	9-2	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	5
42	9-3	自己点検・自己評価結果を公開しているか	5
43	9-4	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	5
44	9-5	関係省庁への定期報告を遅延なく実施しているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

本校は法令や基準等を遵守した運営をしており、東京出入国在留管理局への定期報告等も行われています。個人情報の管理は本校のプライバシーポリシーに基づいて行われており、これまでに情報漏洩などの不祥事はありません。自己点検・自己評価は今後も毎年12月に定期的実施、公開し、一層の改善に努めていきます。

10. 社会貢献			評価
45	10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	5
46	10-2	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

本校は柏市内の中学校の社会化体験の受入れ校となっており、毎年11月に、将来日本語教師になりたいと希望する中学生10名程度が本校の授業見学に来ています。参加した中学生は本校の留学生とのふれあいを通して他国の文化や習慣について学んでいます（なお、ここ3年は新型コロナウイルス感染症の影響により中止）。

〈総括〉

本校は、2015年に創立以来、堅実な学校運営を行ってきており、2017年には学校法人を設立して教育の質を担保した他、生活サポートや進路指導の改善を続け、充実した教育・サポート体制を構築してきました。また、学生ニーズや日本語教育業界を取り巻く環境の変化に対応し、カリキュラムや学生国籍構成などの改変を続けてきました。現在では、前項までに記した通り、総合的に安定した学校運営ができています。

新型コロナウイルス感染症の影響により、日本への留学生が激減しましたが、昨年4月からの入国制限緩和により、徐々に本校への入学者も増加しており、今後も質の高い授業を留学生に提供できるよう最善の努力を行っていく所存です。

責任者 学校法人村上ワールド学園 日本語国際学院 校長 村上 豪人

実施期間 2023年12月